

# 川内原発再稼働

2014年9月10日 原子力規制委は川内原発が新規制基準に適合している、として設置変更許可することを決定しました。  
この件に関して新聞各紙の社説は。。

## 産経新聞

2014年9月11日

### 川内原発「合格」 再稼働の加速につなげよ

「あまりにも時間がかかり過ぎている。」  
「規制委の発足以来の対応は、国力の低下、社会的リスク、環境負荷の増大など、**原発停止状態がもたらす負の側面を全く無視している**かのように映る。」  
「川内原発の審査経験を生かし、**今後の原発審査の迅速化**につなげることが重要だ。」

## 読売新聞

2014年9月11日

### 川内原発「合格」 再稼働へ課題の解決を急げ

「もっと速やかに審査できなかったのか。」  
「他の原発の審査で、同じ轍(てつ)を踏んではならない。」  
「原発の**安全性と重要性**を丁寧に説明せねばならない。」

## 日経新聞

2014年9月11日

### 川内再稼働へ 首相が前に出て理解得よ

「これで原発の**「稼働ゼロ」**の解消へ道筋が見えてきた。」  
「安倍晋三首相が自ら前に出て、再稼働がなぜ必要か、原発をどのように位置づけるか、国民に明示するときではないか。」

## 毎日新聞

2014年9月11日

「多くの課題が残されたままで、**なし崩し的に再稼働を進めることは認められない。**」

「経済面で原発との結びつきが強い立地市町村は再稼働を望みがちだ。同意の範囲をなるべく狭く抑えたいと政府や電力会社が考えているとしたら、大きな間違いだ。」

### 川内原発再稼働 なし崩し的に進めるな

## 朝日新聞

2014年9月14日

「あまりに前のめりに過ぎないか。」

「川内再稼働を前に、「想定外」を「想定内」に変える努力の余地は、まだまだ大きい。」

### 川内再稼働 山積する課題忘れるな

## 東京新聞

2014年9月12日

「これだけで再稼働の免罪符になるのなら、**安全神話の復活**というしかない。」

「外部の専門家からの指摘や国民の声は軽視されているようにしか、受け取れない。」

「このままでは規制機関への不信が再び募る。**不信と不安を残したままの合格証には価値がない。**」

### 川内原発 安全の合格証ではない

2014年9月23日



in 亀戸



主催者発表で1万6千人参加とのことですが、翌日朝刊では。。

全く触れない3紙

産経新聞

14版

読売新聞

14版

日経新聞

14版



毎日新聞

14版

(社会面)  
15.5x10cm

再稼働反対  
1万6千人

東京新聞

11版S

(社会面)  
25x9cm

脱原発集会に第五福竜丸元乗組員

(1面)  
39x11cm

脱原発まで行進

朝日新聞

14版

(社会面)  
13x4cm

脱原発1万6千人訴え

青い四角は記事の実物大  
所々の写真は私が当日撮影したもの

感想を少しだけ。。

社説での6紙はほぼいつも通りの立ち位置です。

朝日新聞の社説が他紙より遅いのは自社のゴタゴタも関係するかも。。。

朝日新聞の吉田証言記事取消で我々が学ぶべきは、それが何新聞であれ、鵜呑みにしちゃダメよ、ということなのでは？

ここにあげた社説や集会の記事を見ると、各社の立ち位置が異なることがわかります。(当たり前っちゃあ、当たり前ですが。。)

それらが何を根拠としているのか？を見極め、自分の頭で考えなければいけないのだと思います。これは新聞に限らず、雑誌、テレビ、著名人の語ることに当てはまるはず。